

学習用資料集

横越遊水地何が問題か？

横越「遊水地」問題学習会

美濃病院側から見た横越の中州(中島)

横越遊水地計画とは…

- ◇建設予定地 美濃市横越 長良川中州及び支流の中川
- ◇地権者 横越住民57軒と同住民で構成する土地管理組合
- ◇経過
 - ・平成20年3月 国土交通省中部整備局は「木曽川水系河川整備計画」策定 戦後最大級の水害・平成16年10月水害に対応するため、**基準地点忠節を安全に流下させる目的**で上流に遊水地を造る計画(場所未定) **※岐阜市中心部を水害から守ることを目的として計画**
 - ・平成26年頃 6候補地(岐阜市溝口、関市池尻・小瀬・下白金・保戸島南・**美濃市横越**)選定
 - ・令和2年3月 「木曽川水系河川整備計画」を変更 **遊水地を関市池尻と美濃市横越に造ることを決定** **※「当該地域の振興に資する」とは書いてあるが、建設予定地の安全を図るとは書いてない。**
※「地域の振興」とは利益誘導のことで横越の安全性が増すとは書いてない。

2023.3.28 美濃市に説明を求めましたが「説明することはない」との回答がありました。

横越が選ばれた理由は費用が安く済むから

◇忠節の流量を下げることを目的として上流の6か所選定

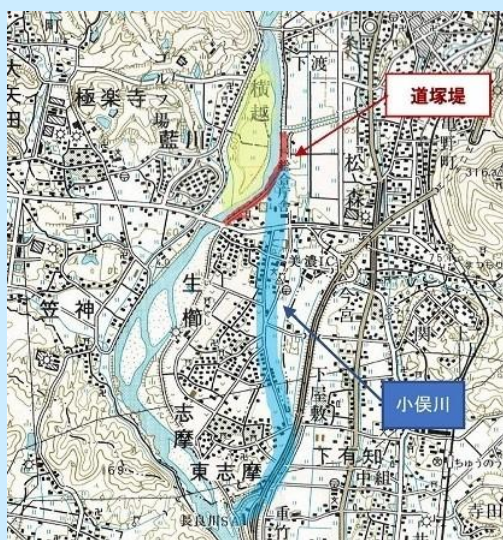
◇その後、事業費の安価な1位池尻と2位横越を選定。国は当初、恩恵を受ける岐阜市が汗をかかなければと溝口案を推していたが …

		候補地					
		(下流側)				(上流側)	
		下白金	保戸島南	溝口	小瀬	池尻	横越
用地取得方法		地役権設定				用地買収	
単独で整備した場合の投資効率等	調節量 (m ³ /s)	27	51	137	65	68	183
	概算事業費 (億円)	30	56	110	83	30	108
	m ³ /sあたり事業費	1.11	1.10	0.80	1.28	0.44	0.59
	順位	5	4	3	6	1	2
1位+2位		-	-	-	-	○	○

令和元年5月 木曾川上流河川事務所第1回流域委員会資料

横越・中有知は水害多発地域

右図：美濃市のハザードマップ。
下図：道塚堤防完成前は小俣川が流れており、中有知はたびたび水害に遭ってきた。地元のみなさんは改修を要望してきた。



横越選定理由「費用が安価なこと」、美濃市長が「スポーツ公園計画があり賛成」と表明したことなどによる。
左岸(中有知側)の道塚堤防ができてから10回ほど水害に遭っている。

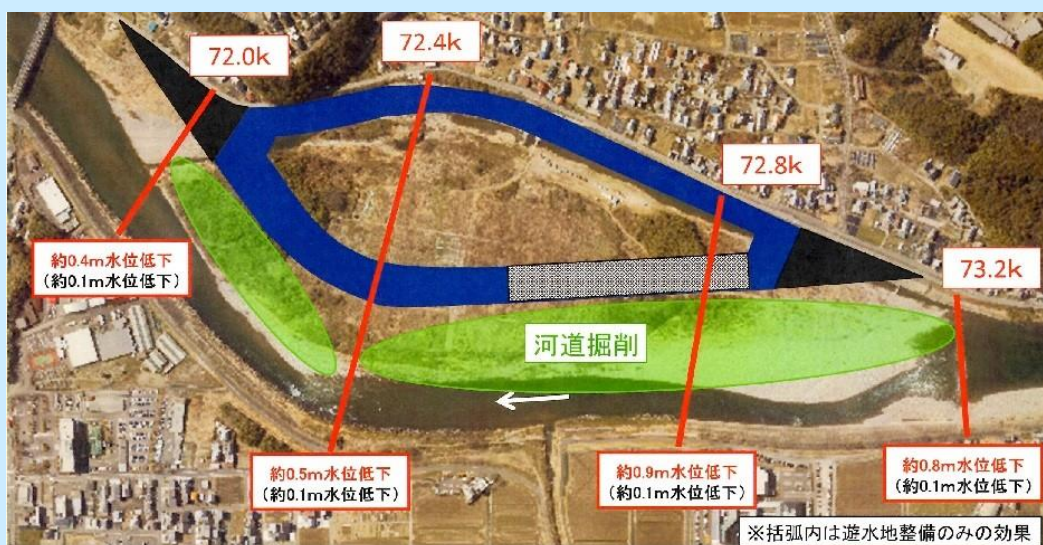
100億円以上かけて水位低下は10cm

◇令和4年5月の説明会で「遊水地により下流で 40cm、上流で 80cm水位が低下する(赤字部分)」と説明された。

◇よく見ると遊水地による効果は10cmにすぎない(黒字部分)。

※次回の説明会以降、資料から黒字の数値が消された。

◇ほとんどは河道の掘削による効果(-30cmから-80cm)。



なぜ平成16年水害を基準にするのか

◇戦後最大級の平成16年水害に備えるためというが⇒他の水害は上下流の堤防が決壊したため結果として16年水害は忠節の流量が一番多かった。

◇岐阜県は安八水害が「戦後最悪の水害」と認定している。

◇私たちの要望に対して、河川事務所は想定以上の水害があった時の対応は「20年後に検討する」と回答。

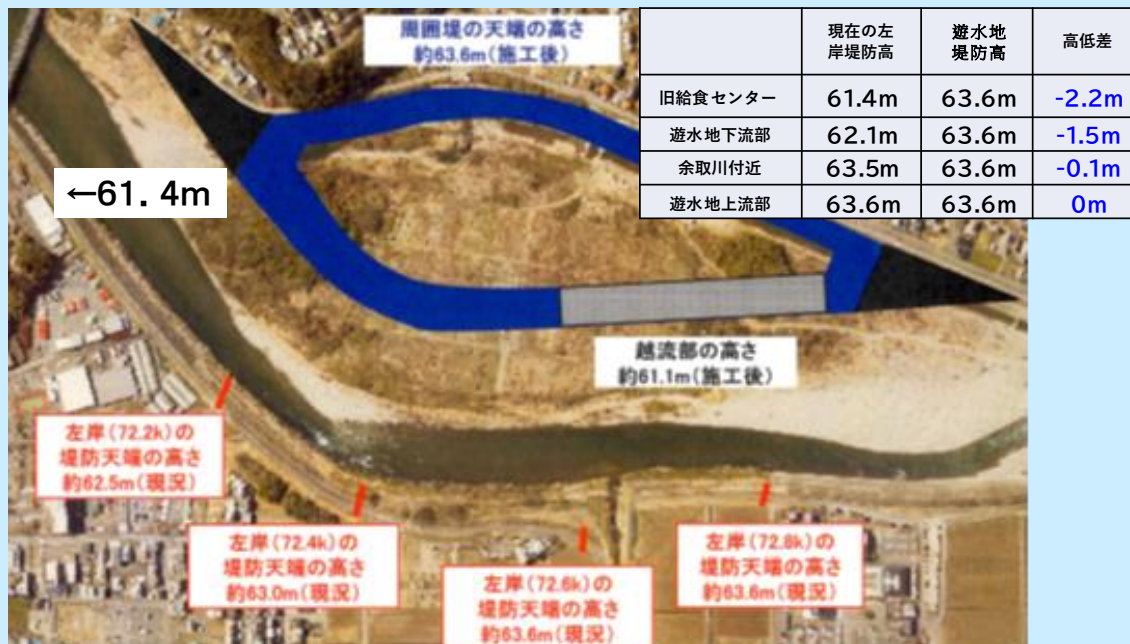
災害年	水害名	被害	郡上 雨量	美濃 雨量
S34. 9.26	伊勢湾台風	左岸決壊	—	—
S35.8.11-12	台風11・12号	左岸決壊	—	—
S36.9.16	第2室戸台風	左岸決壊	—	—
S51.9.12	安八水害	左岸決壊・右岸越水	1091	840
H16.10.20	台風23号	左岸・右岸越水	325	

※現在の水防法に基づき「想定しうる最大規模の降雨」に対応する計画にすべきです。

掘削や霞堤の活用で済む工事に 100 億円以上かけ、想定以上の水害には対応できない工事の意味は・・・。

中有知地側(左岸)の目の前に高い堤防が

- ◇遊水地堤防は下流で左岸よりも2mほど高くなる
- ◇川幅を狭め、流れを速くして、左岸の目の前に高い堤防を造れば中有知地区への越水の可能性が増すのは明らか。



川幅を広げるから安全性が増すというけれど

◇国「流速は川の中心部が速く堤防の負荷がかかりやすい。100mの川幅を200mに広げるため左岸・道塚堤防への負荷が減少する」と説明するが…

◇比較すべきは平水位ではなく洪水時。洪水時の川幅は約500m。遊水地により川の中心は左岸の目の前に。さらに川幅を狭ばめるため、流速も3m/sから5m/sと速くなる。

◇「最深部の流速が速いが掘削するから大丈夫」というが、下の予想図を見ると最深部は左岸堤防側のそば。

越流部の様子



河川事務所は矛盾点を指摘されると次の説明会で削除する。美濃市土木課も矛盾点について口を閉ざす。

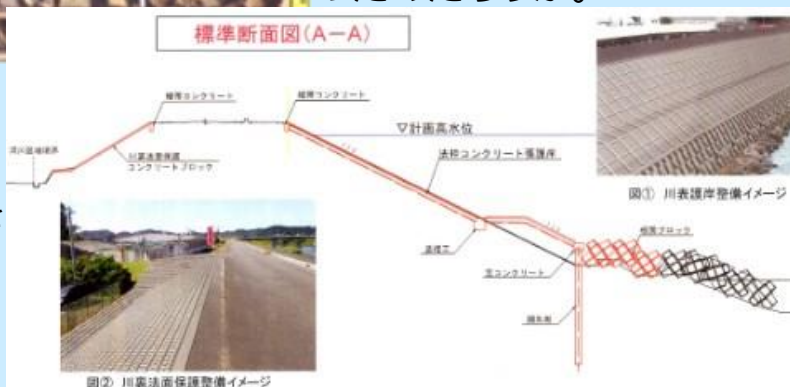
国・市はボーリング調査で安全と言ったが

◇令和3年8月31日、河川事務所と美濃市土木課は左岸堤防のボーリング調査について住民に「堤防の浸透破壊に対する安全性を調査し、基準を満している」と説明

◇当会が「隙間も見られる。浸透水も染み込んでいる可能性がある」と指摘すると、昨年10月、堤防の補強案を出す。指摘しなければ補強をしないで済ますつもりでいたのだろうか。美濃市もわからないで安全と言ったのだろうか。



(上)ボーリング調査時の写真。隙間が見える。
(右)改修計画案 川側に矢板と言われる浸透水を防ぐ工事を行うことがわかる(赤色の縦の線)。



国・美濃市はこの質問にも答えてください

◇国「国が管轄するのは遊水地区間(青線の区間)。堤防の外の水害対策やそれ以外の区間は県や市が責任を持つ」と言っている。想定以上の豪雨で左岸が越水した時、**美濃市長は「速く逃げてください」と言うだけでなく、どのように避難すればよいのか避難計画を示してもらいたい。**

◇**前野地区** たびたび逆流を繰り返している。下流(下渡橋下流)を狭めることにより危険性が増すのではないかな。

◇**笠神地区** 今まで、洪水時は横越で川幅全体に水が広がって山崎大橋を超えていた。川幅が狭くなり、道塚堤防で大きくカブーブを切り、流れも速くなれば、笠神の水害の危険性が増すのではないかな。**※河川事務所「山崎大橋を超えると流れは緩やかになる」と説明しているが..**

◇横越側にある中濃用水の上に新堤防を造る計画。美濃市前建設部長は「用水の上の建設は利用者の既得権を侵害する」と言っていたがどうする。

◇遊水地建設により、横越の内水問題がひどくなるが対策はどうする。

◇本川の流れが速くなれば、余取川のバックウォーターが発生しやすくなるのではないかな。

一地元住民に納得できる説明を。



道塚堤防は安全と説明した責任は美濃市にもある。美濃市は国への忖度を止め、市民を守る姿勢に改めるべき。

工事により環境破壊は間違いなく進む

◇特別天然記念物オオサンショウウオが横越に生息していることが明らかになった。3千年前から生息している。「生きた化石」であり、三重県は県で規則を定め保護している。

◇美濃市は市内の河川にオオサンショウウオが生息していることを把握しているが、対策は取っていない。

◇専門家は、「横越地区は特に重要生物が密に生息している可能性が高い。中州についての考えも甘く、しっかりと検討して見直すべきだ」と指摘している。

◇世界農業遺産「長良川の鮎」への影響も大きい。

◇中州全体を削る工事により大量土砂が出る。河川、周辺地域への影響は計り知れない。

◇私たちは中州を国・市が借り上げ、自然観察などができる市民の憩いの場にすることを提案しています。

2021/9/30 中

動植物移動に活発な意見

長良川遊水地 調査検討会第2回会合

関市地房と美濃市横越で国が計画する長良川遊水地について、動植物の保全や環境を議論する「長良川遊水地河川環境調査検討会」(委員長・藤田裕一郎・岐阜大名菅教授)の第2回会合が二十九日、じゅうろくプラザ(岐阜市橋本町)で開かれた。

計画は二〇四四年十月の洪水に匹敵する大雨が降った際、岐阜市を流れる長良川の水位を安全な高さまで下げることが主目的。池尻では現在堤防が低くなっている。

調査検討会では、予定地の長良川中流域には、特別天然記念物のオオサンショウウオや天然記念物のネコギキ、絶滅危惧種のウシモツゴなどの希少生物が生息しており、保護などが課題となっている。会合では保全する生物の選定や移植先、予定地での動植物の生態や影響範囲などを議論。国側は工事直前に調査をして、重要とされる動植物を事前に長良川の別の場所へ移すと説明した。これに委員から「移植ありきで工事完了後の生育環境を創出させる考えが薄い」「綿密な計画を立てるべきだ」などの意見が出た。森誠一・岐阜協立大教授(河川生態)は「横越地区は特に重要生物が密に生息している可能性が高い。中州についての考えも甘く、しっかりと検討して見直すべきだ」と舌を刺した。国土交通省木曽川上流河川事務所奥山聡俊志・調査課長は「委員の意見は遊水地や河道整備の設計に取り入れていきたい」と述べた。(秋田耕平)

国の方針は「流域治水」に変更となった

◇国は「流域治水」という考えを打ち出し、「気候変動による降雨量の増加などを考慮した計画」に見直し、「流域のあらゆる既存施設を活用」することに変更した。

◇霞提は、普段は畑地など活用し、洪水時に水を流して水害を防ぐというもので、美濃市には下渡(右上)と笠神(右下)にあるが地権者への保障はない。他の霞提は、関市に4か所(池尻・小瀬・上白金・保戸島南、いずれも遊水地候補地)ある。

◇池尻の霞提は遊水地に指定され、国が借り上げることになる。巨額の税金を投入する川の中の遊水地を造るよりも、下渡・笠神の霞提などの既存施設を活用すれば、国の管理となり安全性も増す。

一市議会に特別委員会を作り、美濃市全体で横越遊水地計画について議論してください。市民にも説明を！



下渡の霞提



笠神の霞提